

手をつなぐ浜松

HAND IN HAND

Vol.97 2025. 6. 6



発行:浜松市浜松手をつなぐ育成会

〒435-0054

浜松市中央区早出町815番地の3

浜松市浜松手をつなぐ育成会事務局

TEL(FAX) 053-544-9010

✉jimukyoku@hamamatsu-ikuseikai.net

2025 年度総会報告

日時:令和 7 年 5月18日(日)13:30～

会場:浜松市福祉交流センター 小ホール

前日の雷を伴う雨からは一転、私たちにとって節目の日を祝福してくれるかのような良い天気の中、多くの来賓・招待者を招いて総会が開催されました。

冒頭小出新顧問からの挨拶では、役員改選により会長は水崎新会長へ、顧問は小出新顧問が務められることを報告されました。

そして「25年間掲げてきた浜松育成会の理念である『私たちが一番つらく苦しかったのは、子どもの障害がわかった時である。その時期の人たちに手をさしのべられない育成会は、存在価値はない』をこれからも引き継いでいってほしい」と述べられました。



水崎新会長

水崎新会長からの挨拶では「昨今福祉サービスも充実してきたように見えるが、時代の変化とともに新たな課題も出てきている」「育成会はまだまだすべきことがたくさんある。引き続き理念を大切にしながら、手をつなぎ存在を再確認して次世代にバトンタッチしていくことが使命である」「育成会は時代に合わせて変化をしながら楽しく有意義に活動をしていきたい」とお話しされました。続いて一般企業で10年以上勤務されている功績を称え5名の方に、また長年理事としてご尽力いただいている役員3名の方に表彰状が送られました。さらに西部地区連合会会長表彰として役員3名の方が表彰されました。表彰者の皆さん、おめでとうございます。

また今回は御多忙中にもかかわらず浜松市長中野祐介様にお越しいただき、「育成会では、会員相互の交流、各種イベントの開催などを通じて社会参加の促進に積極的に取り組み、地域共生社会の実現に向けて先頭に立って尽力いただいている。これからも共に支え合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくために力添えをお願いしたい」とのご祝辞をいただきました。

来賓の浜松市議会議員鈴木恵様からは「昨年度の『やさしい日本語』による選挙公報を依頼した活動は素晴らしいものだった。今後もぜひ継続してほしい」、浜松特別支援学校校長園田一哉様からは「長年に渡り、小出新顧問をはじめ皆さんの力で社会の理解を広め制度を変えてきたことに心から敬意を表する」とのお言葉をいただきました。

議事では、喜友名瑞穂さんが議長に選出され、全ての議案について承認されました。(報告者 鈴木 千春)

■表彰状受賞者

永年勤続表彰 浦川 裕也様 秋山 嶺様 松下 達海様 山下裕太郎様 水谷美保子様

役員表彰 村松 香織様 波多野俊哉様 若澤 佳史様

西部地区連合会会長表彰 山口 智子様 今村 宏美様 田中 昌子様

○総会参加者 会場 91 名 オンライン参加者 13 名 合計104名

○皆さまのお手元にお届けしました「総会資料」にはいろいろな情報が掲載されていますので、ぜひ一読ください。

◇総会 第2部		
講演会 「災害時における障害のある方と家族の避難について」報告		2・3
◇総会 アンケート報告		
◇「新役員の紹介」顧問・会長挨拶 副会長・会計 抱負ひとこと		4・5
◇部会・委員会 今年度取組	●幼児部会 ●小中学校部会 ●特別支援学校部会 ●成人部会 ◆啓発委員会 ◆児童委員会 ◆地域生活支援委員会 ◆イベント委員会 ◆発達支援委員会 ◆就労支援委員会 ◆ボランティア育成委員会	6・7
◇行事予定(6～9月) ○お知らせ掲示板	■情報・交流誌「手をつなぐ」購読 ■公式 LINE のお知らせ	8

総会第2部 講演会

「災害時における障害のある方とその家族の避難について」

講師：国立大学法人静岡大学客員教授

総務省地域力創造アドバイザー 大村 慎一氏

近年多発する地震災害や豪雨災害では、私たち障害者家族の関心ごとの一つに「避難に関すること」があります。「避難」には避難方法、避難所のルールや避難所開設の手順等わからないことが多く、常に正確な情報を知る必要があります。

講師に、元静岡県副知事の大村様をお迎えし、ご講演いただきました。大村様は能登地震や熱海の土砂災害等だけでなく、総務省でも消防や危機管理にかかわられた経験をお持ちです。私たちにとっても示唆に富んだ内容をお話ししていただきました。



1. 災害の多発化、重大化…近年、全国的に雨が多くなっている。(局地化・集中化・激甚化)各地で大規模地震が想定されている状況。

①緊急事態（発災時）に対する対応

国・都道府県・市町村で役割が分担されていて、政府の発災時初動は30分以内に集合し災害対策本部を設置する。都道府県も災害対策本部を設置し、救助活動拠点、広域医療・物資輸送拠点の開設や設置など全体的に判断する。避難指示や避難所開設などは市町村が主体である。県への応援要請は、浜松なら市長から行う。浜松市は震度5以上で対策本部を開設。被害が大きいほど現地の生の声が重要になる。

②緊急消防援助隊

全国的な消防の応援制度であり、被災県知事からの応援要請後消防庁長官の指示があり出動する。72時間以内に駆けつけて支援する。

③応急対策職員派遣制度

総括支援チーム(1~2名)は先遣隊として災害状況、応援ニーズを確認し災害マネジメントを支援する。対口支援チームは避難所運営等災害対応業務の支援をし、都道府県または指定都市を1対1で被災市区町村に割り当てられる。最近では能登地震時、静岡県は穴水町、浜松市は洲市を支援。

2. 福祉避難所のあり方とその仕組み…昭和34年の伊勢湾台風を機に災害対策基本法が制定され、その後の災害を経て、平成25年に要支援者の避難行動支援に関する取り組み指針を策定するための基本法の改正が行われた。さらに令和3年には個別避難計画の作成を市町村の努力義務化した。

①基準に適合する指定福祉避難所

要配慮者の円滑な利用を確保するための措置が講じられていて、相談・助言その他の支援を受けることができ、滞在するのに必要な部屋が可能な限り確保されている。指定した時は名称、所在地、受け入れる被災者等必要と認める事項を公示する。

②防災基本計画での指定避難所について

市町村は必要十分な指定避難所をあらかじめ指定し、場所・収容人数等について、住民への周知徹底を図り、要配慮者のため、必要に応じて福祉避難所として指定避難所を指定するよう努める。浜松市では2023年11月時点で、公共施設21施設、民間施設140施設が指定されている。

3. 指定福祉避難所の現状と課題…普段から利用している施設へ直接避難したいという声があるが、福祉避難所が公表されると他の被災者が避難してくることが考えられ、福祉避難所としての対応に支障がでる懸念から福祉避難所の確保が進まない。

①避難行動要支援者名簿

要支援者名簿は98.9%の市区町村で作成を完了しているが、要支援者名簿に掲載されるべき人がされていないことを防ぐため、福祉専門職や医療職のほか、地域の鍵となる人(民生委員等)や団体(育成会等)との連携が必要。氏名・生年月日・性別・住所・電話番号その他連絡先・避難支援を必要とする事由・その他避難支援等に必要な事項を掲載。(注)育成会会員については、療育手帳Aの方は必ず名簿に載るが、Bの方は手上げ方式で申請が必要となる。

②福祉避難所への直接避難について

名簿をもとに、個別避難計画の策定プロセスを通じて、事前に避難先の福祉避難所ごとに受け入れ者の調整等(※)を行い、直接避難を促進する。受け入れ対象者を特定し公示し、対象者とその家族のみ避難する施設であると明確化する。実施にあたっては、要配慮者の意向や地域の状況等に応じ、一般の避難所内の要配慮者スペース等を活用することも考えること。

(※)一人一人ヒアリングして計画するので大きな市では時間がかかる。

③個別避難計画とは

市の防災・福祉などの関係部署や福祉専門職、民生委員、自治会、自主防災組織(自主防の中に要配慮者の支援班が必要と言われている)と連携し、地域や当事者本人の状況を踏まえ、優先度の高い者から個別避難計画の作成に取り組む。(注)浜松育成会会員のほとんどは保護者と同居しているので個別避難計画の対象外となる。

4. 指定福祉避難所の開設の流れ…開設には発災時から目安として 3 日かかる。発災後、災害情報の把握、1 次避難所に避難した方の状況をみて開設の判断をし、職員派遣を依頼、開設の周知。そうして 3 日以降運営開始。

まとめ

- 福祉避難所のマニュアルでは浜松市は整備済みだが直接避難は今後の課題であること
- 当事者・家族も平時からの備えが大切。「避難行動要支援者名簿」への登録は必須
- 地域の自治会・自主防災組織等と日頃からのコミュニケーションを取る
- 育成会として切実な声を行政に届け、行政とのコミュニケーションを密に取っていく



地域生活支援委員会では、各エリアの自立支援連絡会に出席し、行政・福祉関係機関・教育機関・民生委員・地区社協等の皆様と常にコミュニケーションを取ることを心がけています。育成会の総会には議員の方や行政の方をはじめ、多くの関係機関の方々が出席していただいています。私たち会員一人一人が地域で顔の見える関係作りをすることの大切さに改めて気づかされた講演でした。ありがとうございました。

(報告者 百瀬江利子)

総会と講演会アンケートより



【第1部について】

- ・小出顧問、水崎会長それぞれの挨拶、退任された方への花束贈呈、浜松市長のご祝辞など盛りだくさんに感じられました。本人さんへの表彰状授与は成人した人たちの様子を知ることができて励みになります。(成人部会)
- ・本人表彰の皆さんが堂々とされていて立派だと思いました。表彰補助の本人もきちんと役割をこなしていて素敵でした。役員表彰も皆さん笑顔で受け取っていてとても良かったです。(小中学校部会)
- ・新しい浜松手をつなぐ育成会が始まるんだと感じた式典でした。中野市長がお見えになったことも嬉しいです。(特別支援学校部会)

【第2部について】

- ・災害発生時の政府の対応として、国、県、市のそれぞれの役割やルールなどは初めて知り勉強になりました。また初動が重要であることが改めてよくわかりました。資料にも一部掲載されていた浜松市の福祉避難所施設について、講演後に HP で調べて初めて知りました。災害が発生してからではなく、平時からの備えとして日頃からできることがたくさんあることがわかったので、行動を起こしていきたいと思います。(小中学校部会)
- ・行政、地域の自治会、自主防災隊とのコミュニケーションを取ることの大切さを改めて感じました。私は地域の女子防災隊に入っていますので、そちらの活動も大切にしていきたいと思いました。(成人部会)
- ・防災に関しては準備もどこまでやっても足りない気がして落ち着かないです。とにかく声を上げていくことが大事だと再認識しました。(特別支援学校部会)

【総会全体について】

- ・福祉交流センター 小ホールは会場が明るくてよかった。今後も福祉交流センターで総会開催の場合駐車場確保についてが課題だと思う。(成人部会)
- ・小出様 長きにわたる多大なご尽力をありがとうございました。お疲れ様でした。(相談支援事業所)
- ・来賓の方も多く、関心、知名度の高さを感じた。(特別支援学校部会)

新役員紹介と挨拶

小出 隆司(こいで たかじ)

顧問（全国手をつなぐ育成会連合会副会長）
可南（社会福祉法人復泉会 第2くるみ作業所）



浜松市根洗学園を出発点とした手をつなぐ育成会の私の会長職は、5月の理事会において25年間副会長として私を支えてくれた水崎裕久さんへバトンタッチをしました。

水崎さんの息子さんと私の娘は、同級生ですが私より10歳若く、また、新たに発足した執行部も副会長に学齢期のお子さんの親御さん2名が手を挙げてくれました。まさに25年前の体制の再現を見る思いです。

顧問として育成会へお役に立てることは、障害福祉が措置制度から契約制度への大きな変遷がされた真只中を歩んできた経験とこれからも障害者の親として求められることにお応えしていくことだと思っています。

この25年間を一緒に活動してくれております皆様、障害福祉サービスのない時代に、長い学校の休み対策にサマースクールを実施したり、発達学級の設置校が市内の四分の一の小中学校にしかなく、歩いて通える発達学級設置を浜松市に訴えて育成会の名のもと団結しました。その時の方々は今も活動に顔をだしてくれています。私はその方々を戦友と思っています。これからも浜松育成会をお願いします。

最後になりますが、浜松市育成会の活動理念に掲げている「私たちが一番つらく苦しかったのは、子どもの障害がわかった時である。その時期の人たちに手をさしのべられない育成会は、存在価値はない」を念頭に置いていただきたいと思います。



水崎 裕久(みずさき ひろひさ)

会長・ボランティア育成委員長
大輔（社会福祉法人みどりの樹 ループ奏るるる）



今年度より新たに会長となりました、水崎です。

平成11年度に副会長となってから25年間、小出前会長とともに活動を続けてきました。

事務局長、ボランティア育成委員長、広報委員長を併任し、会員名簿を作るところからの会員管理、青少年福祉ボランティアリーダー育成研修会の20年に及ぶ開催、広報紙「手をつなぐ浜松」の年4回、4号から96号までの発行など、日々忙しく、しかし充実した四半世紀でした。

会長就任には躊躇いもありましたが、私なりに先人の想いを若い世代に継いでいくことが出来ればと思い、お受けすることとしました。

まずは、主に役員の負担を軽減することを目的として、会員管理システムの導入に向けた検討委員会を立ち上げ、会員管理の合理化・会員に対する情報提供及び情報収集のツールを構築することで、役員の負担を軽減し、出来るだけ会員に対する活動に専念できるようにしたいと考えています。そして、育成会の最大の強みである、障害のある子を育てているあらゆる年代の保護者からの知恵・経験などの貴重な情報を、必要な世代の会員に随時お届けできる仕組みも考えていきたいです。

育成会活動理念を継承しながら、時代の変化に合わせた組織と活動の在り方を見据え、努力して参りたいと思いますので、会員の皆さまには、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。



新役員紹介

(副会長・会計)

名前
役職
子どもの名前・所属
ひとこと・抱負



松井 章子(まつい しょうこ)
副会長・事務局長
謙太郎(けんたろう)大山ファーム



高橋久美子(たかはし くみこ)
副会長・啓発委員長
浜松キャラバン隊隊長
舞(まい)アルス・ノヴァ

育成会の理事になったころ、息子は小学生でした。古株なので、物覚えの悪さは許していただきたいと思います。新体制となりましたが、私自身は今までと変わらず「いい加減」で自分のできることをやっていきたいと思っています。



日々、2匹の愛猫に癒されています。

今年度は全国大会東京大会の分科会テーマ「育成会活動」で浜松の活動をお話する機会や、全国啓発キャラバン隊セミナーが浜松で開かれることもあり、浜松の特色を伝える年になりそうです。個人的には一年前に浜松城公園の近くに古本屋と珈琲の店を開店しました。小さなお店ですが、良かったらお立ち寄りください。



佐々木正子(ささき しょうこ)
副会長・広報委員長・特支部会代表
玲依(れい)浜北特支高等部



鈴木 千春(すずき ちはる)
副会長・事務局
陽花(ようか)葵西小学校



芝 充子(しば みつこ)
本部会計
裕一(ゆういち)にゃんこらぼ

今年度より副会長と広報委員長を務めさせていただきます。まだまだ知らないことばかりですが、できることを増やしていきたいと思っています。育成会の理念に感銘を受けて、みなさんの優しさ温かさに救われながら活動しています。今回、広報にもなったので、有益な情報をみなさんに伝えていけるように努めたいと思います。



最近、Mrs.GREEN APPLE にハマリ、彼らの曲ばかり聴いています。まさしく今の気分は『ケセラセラ』。

幼児部会から役員を務めています。役員の経験としてはまだ年数も浅く、知らないこともたくさんありますが、先輩の皆さんに優しく教えてもらいながら事務局を担当しています。早く慣れて少しでも皆さんの活動の力になれたらと思っています。

また、各部会のイベントにもできる限り参加をしたいと思っていますので、お気軽にお声掛けください。今ハマっていることは、小学6年の娘が所属している合唱団を応援することです。楽しそうに歌う姿を見るとパワーをもらえます。



本部会計 4 年目です。細部に注意を払い間違いのないように正確に努めていきます。3 月に各部会委員会さんに会計帳簿と領収書の提出をお願いしています。会計帳簿の計上や領収書の仕分け作業など大変だと思いますがご協力をお願いいたします。

楽しみにしていることは毎年開催されるコーヒーフェスに行くことです。



部会・委員会 ～今年度の取り組みと抱負～

幼児部会

幼児部会では、6月にしずおかサポートファイル説明会を、7月に書き込み会を開催します。まず説明会では、サポートファイルについて詳しく知ることが出来ます。

そして、今年度の書き込み会は、先輩ママを迎えて行う予定です。わが子の記録を書きながら、経験談を聞いたリ、質問したり、貴重な情報交換の時間になると思います！秋にも2回目を開催予定ですので、ぜひご参加ください。（報告者 松井あずさ）



小中学校部会

今年度から小学校部会の代表を務めさせていただきます伊賀と申します。

今まで様々な育成会イベントに参加し、子どもも私自身も沢山の楽しい体験や学びをさせていただきました。以前は子どもを社会の場に連れ出す事にハードルを感じておりましたが、育成会のイベントでは安心して子どもを連れ出すことができます。親子が安心して社会体験や遊び体験ができる事はお互いにとって重要な事だと感じております。そういった体験や学びが楽しくできるようなイベントを開催できるよう頑張りたいと思います。まだまだ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

（報告者 伊賀 弘子）

中学校部会では、今年も小学校部会と協力して活動を行っていきます。小中学校だけではなく、幼児から成人まで異世代間の交流できるイベントを実施する予定です！皆様の交流の場になればいいなと思います。

私も、イベントに参加する度に自分の子どもより年が上の子たちと接していると、うちの子はどんな大人になるのかな、無事に成長してくれるかしら…と色々な気付きがあるので面白いです(笑)

中高生を中心に活動している本人会も、今年も活動が始まりました！3年目になると、本人たちもやりたいことが思い付きやすくなり、やりたいことがたくさん集まりました☆ボウリングやお菓子作り、今年も秋祭りも開催したいところ…しかし、人手が不足しております。本人会、一緒に活動してくれる方を大募集中です！！現在、子どもと大人、あわせて10名ほどの人数で活動しています。自分も参加してみたい！という方がいましたらぜひ小中学校部会 LINE からご連絡くださいませ。今年度もよろしくおねがいします！

（報告者 喜友名瑞穂）

特別支援学校部会

特別支援学校部会では今年度も学齢期に必要な知識を得ること、交流を通じて会員同士の繋がりを広げていけるように活動していきます。少しでも会員のみなさんの不安や疑問が解消できるお手伝いをしていけたらと思っています。

す。勉強会や講演会だけでなく、大人も子どもも楽しめるイベントも企画します。お気軽に参加していただけたら嬉しいです。



6/8(日)にはラグビー体験&OB選手との交流会を開催。前回も広い体育館を走り回って、子どもたちの笑い声がたくさん上がりました。普段、遊び場にも困る中、育成会のイベントでは気兼ねなく遊べるように企画しています。ぜひこういう機会を利用していただきたいと思います。お知らせはチラシや公式 LINE にて発信しています。また、気軽にわいわいおしゃべりできる活動を増やしていきたいので、一緒に活動してくださる方、大募集です。

（報告者 佐々木正子）

成人部会

成人部会では余暇活動として、本人・保護者達が日曜日の一日を楽しく過ごしてもらい参加する新しい仲間を増やして繋がりが広がってくれたらと思っています。行事ごとにチラシでお知らせしますので、そちらをご覧ください。

前期の活動では、



☆6/8 7/13 9/7 親子で歌おう!ハッピークワイア(すでにチラシは配布済みです)今年度の曲目「ありがとうの花」「おどるボンボコリン」「アルプス一万尺」の3曲です。毎回30名ほどの参加者で石野裕子先生のご指導のもと楽しく歌っています。

後期も11月～1月で3回を予定しています。歌の好きな方、私達と一緒に歌ってみませんか。

☆8/3 ボウリング大会 定員36名で予定しています。チラシが配られましたらお早めにお申し込みください。役員一同皆さんのご参加をお待ちしております。年間よろしくお願いたします。

（報告者 小粥久仁子）

就労支援委員会

就労支援委員会にはさまざまな企業で働く130名近い会員が所属しています。昨年も、企業就労している(目指している)本人や家族が集まり、困り事、嫌な事、悩みなどを気軽に話し合いができる場所「就労カフェ」を6月、9月、12月、3月の年4回開催しました。最初はなかなか話が出来なかった人も、回数を重ねるにつれ自分や仕事の事を伝えられるようになってきました。家族には話にくい事も同じ仲間達には安心して話しが出来るようです。障害者スポーツ体験、自己紹介、カフェタイム、企画実行意見交換などを行っています。

今年度は新たな取組として9月にわかふじ障がい者スポーツ大会へのボッチャ競技参加や3月に子どもたち自らが企画実行した発表会の開催を計画しています。参加される親同士で悩みを共有したり、各種企業の就労に携わる専門スタッフが参加していますので困りごとを相談する場としても活用していただいています。



これまで多くの参加者の皆様にご協力いただき、活動を続けてこられています。就労支援委員一同、今年度も「就労カフェ」を活動の中心としますます充実発展させることで支援の定着につなげていきたいと考えております。

（報告者 伊藤 秀猛）

啓発委員会

今年で16年目になります啓発委員会の浜松キャラバン隊、毎年決まってご依頼いただくクリストファー大学の新一年生向けの公演、浜松市移動支援従事者養成研修、自分たちから発信する路上演劇祭などを含め、年に10回近く公演をしています。

今年は11月27日に全国啓発キャラバン隊セミナーが浜松で行われることになりました。全国の取り組みが紹介されたり、グループに分かれてブレイクアウトセッションもあります。浜松で行われることは今後ないかもしれません。ぜひこの機会に参加してみてください。詳しいことが決まりましたら公式LINEでお知らせします。



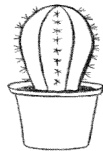
写真は今年度第1回目の公演、ふれあいフェスタ in ソラモ2025の様子です。
(報告者 高橋久美子)

児童委員会

児童委員会は、学齢期のうちに知っておきたい知識、情報、進路を考える上で活用していただける内容と、『進路の手引き・道』を発行しています。

総会資料に「進路の手引き『道』」を紹介しました。参考にいただけると幸いです。

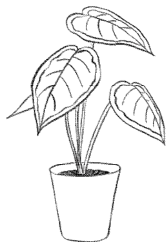
今年度は、学齢期前の幼児部会との交流の機会を増やし、他部会と協力した活動をしていきたいと考えています。わたしたちも、学齢期ならではの悩みをたくさん抱えてきました。それらの経験を、これから学齢期を迎えるお母さん方にお話することができそうです。会員同士、直接、顔を合わせて、さまざまなおしゃべりをする中で、必要なタイミングで、役立つ情報を手にしてほしいと思います。さて、児童委員会では、一緒に活動して下さる方を募集しています。興味のある方は、お気軽に児童委員までお知らせ下さい。皆さんからのご連絡をお待ちしています。



(報告者 村松 香織)

地域生活支援委員会

地域生活支援委員会の委員は、今年度も浜松市障がい者自立支援協議会の各エリア連絡会へ参加します。各委員が住んでいるエリア(旧区)で行政・教育・福祉施設など障がいがある方々を支援している関係機関と我々当事者が集まり、



エリアの特性からより暮らしやすい街になるよう活動しています。他の障がい者団体と市との意見交換をする会議にも参加予定です。

また社会福祉協議会、民生委員・児童委員の方々と地域のイベントの運営に準備段階から関わらせていただくこともあります。

今年度も引き続き、会員の皆さんの声に耳を傾けていこうと思っています。幅広い年代の会員さんと交わす雑談の中で困りごとを拾い上げることもあります。委員会のメンバーは固い会議への出席だけでなく、育成会の各イベントに参加しているので皆さんの声を気軽に聞かせてくださいね。

(報告者 伊藤 幸枝)

イベント委員会

今年度の『浜松市障害者スポーツ大会(すまいる)』は、12月6日(土)に浜松アリーナにて開催されます。スポーツを通して楽しいひと時を過ごせるように計画しています。ぜひご参加をお待ちしています。今年度は、都合により開催時期も会場もいつもと違うのでご注意ください。

認定 NPO 法人魅惑的倶楽部と共催のマジックハートコンサートも開催日が決まりました。7/5(土)、8/16(土)、10/11(土)、12/21(日)、2/21(土)、3/7(土)を予定しています。障がいのある人もない人もともに楽しむコンサートです。

予約なしでどなたでも参加できるのでお気軽にご参加ください。いずれもサーラ音楽ホールで、13:00～受付、13:30 スタートで約2時間一緒に楽しみましょう！

浜松育成会のバスケットボールチーム『Wings』ではメンバーを募集しています。月に一度の練習で、年2回試合にも参加しています(わかふじ大会他)。まずは見学や体験をしてみませんか？お待ちしております。

【募集対象】

浜松育成会の会員中学生以上
(男女問わず)

【問合せ・連絡先】イベント委員会
(二次元コードのアドレスまで)



(報告者 鈴木さゆり)

発達支援委員会

今年は、いろいろな人に企画をしてもらい、運営もできる人にどんどんやってもらって、今まで来たことのない人にも育成会の手を届けたい。身軽に小さな企画もLINEのみでお知らせしてやってみる。

紙のチラシをあと1年で廃止して、配信のみに移行することを目指す。チラシ費用の削減と、配布の手間を減らして予算をどう有効に使うか、考える。

参加費についても、講座により多少の値上げをするかも。

目指せ、健全財政。

(報告者 前堀 告予)



ボランティア育成委員会

本委員会では、昨年度と同様マジックハートコンサートでおなじみの認定NPO法人魅惑的倶楽部との共催で、「人が輝くまちづくり2025」～心のユニバーサルデザインの社会をめざして～を開催します。

この研修会は、地域課題の解決や活性化のために必要な知識や手法を習得し、特に知的障がいのある人たちとの交流活動を体験することにより、次世代の人づくり、福祉に強いまちづくりの担い手となる青少年リーダーを育成することを目指としています。対象は中学生以上29歳までとし、6月から12月までの6回の講座と選択実習に取り組んでいただきます。

修了者には、静岡県教育委員会より静岡県青少年指導者(初級)に認定されます。

受講料は1,000円(ボランティア保険料含む)です。ご兄弟姉妹や興味のある方にご紹介いただき、二次元コードよりお申込みください。よろしく願います。



(報告者 水崎 裕久)

行事予定

☆これらの活動は予定です。チラシ等で詳細をご確認ください。
☆状況により中止となる場合もありますのでご了承ください。

6月

- 6/ 8 (日) 「ラグビー体験&0B選手との交流会」
(五島協働センター体育館)【特別支援学校部会】
6/ 8 (日) 親子で歌おう!ハッピークワイア(福祉交流センター)【成人部会】
6/ 8 (日) 第7回就労カフェ(福祉交流センター)【就労支援委員会】
6/ 9 (月) サポートファイル説明会(浜松市根洗学園)【幼児部会】
6/15 (日) 「みんなで料理 梅ジャム・梅シロップ作り」
(曳馬協働センター料理教室)【発達支援委員会】

7月

- 6/21 (土) 静岡県手をつなぐ育成会大会(シズウエル)
6/21 (土) 「教えて!障害基礎年金」DVD鑑賞会(福祉交流センター)【発達支援委員会】
7/ (未定) 流しそうめん【小中学校部会】
7/ 4 (金) サポートファイル書き込み会(浜松市根洗学園)【幼児部会】
7/ 5 (土) マジックハートコンサート【イベント委員会】
7/12 (土) ともにはたらくフェア(浜松市総合産業展示館・第一・第二展示場)
7/13 (日) 親子で歌おう!ハッピークワイア(福祉交流センター)【成人部会】
7/13 (日) 親子陶芸教室(曳馬協働センター)【発達支援委員会】
7/18 (金) 新津地区民生委員研修会公演(場所未定)【啓発委員会】

8月

- 8/ 3 (日) ボウリング大会(浜松毎日ボウル有玉)【成人部会】
8/16 (土) マジックハートコンサート(サーラ音楽ホール)【イベント委員会】
8/18 (月) 親子社会科見学【小中学校部会・発達支援委員会】
8/30 (土) 職業自立啓発セミナー(シズウエル)

9月

- 9/ 6 (土) なんでも相談会(ほっとスペース moca)【発達支援委員会】
9/ 7 (日) 親子で歌おう!ハッピークワイア(福祉交流センター)【成人部会】
9/ 7 (日) 第8回就労カフェ(福祉交流センター)【就労支援委員会】
9/ 7 (日) 静岡県障害者スポーツ大会(草薙総合運動場)
9/11 (木) 小出新顧問を囲んでランチ会(福祉交流センター)【特別支援学校部会】
9/14 (日) わかふじスポーツ大会ポッチャ競技【就労支援委員会】
9/27 (土) 浜松市移動支援従事者養成研修公演(福祉交流センター)【啓発委員会】

お知らせ掲示板

元気の出る情報・交流誌「手をつなぐ」

「手をつなぐ」は、知的に障がいのある当事者(本人・家族)に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。当事者のことを念頭において、60年以上の歴史を刻んできました。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。

購読者には、毎月お届けします。

年間購読料 3,900 円(前納制・県育成会に申し込む場合)

●お申し込みは、静岡県手をつなぐ育成会事務局へ

(TEL 054-254-5230 FAX 054-254-6396)



☆浜松育成会公式LINEをご活用ください☆

公式 LINE では、育成会の行事のほか、様々なイベントや講演などの情報をリアルタイムで提供しています。右の二次元コードを読んでまずこちらを登録してください。

☆使い方☆友達の登録や、発達支援講座の申し込みは、画面下左端のキーボードマークに触れると、トークに書き込む吹き出しが出てきます。画面の下のパナーからつながる各部会公式LINEはイベント申し込みや問い合わせなどにお使いください。部会役員に直接連絡ができます。部会公式LINEは小中学校部会・特別支援学校部会・成人部会が開設されています。また、正会員登録や会員情報訂正、育成会ホームページへのリンクも表示していますのでご活用ください。



編集後記

今号より編集担当になりました。楽しい紙面を目指していきたいと思えます。よろしくお願いします。高3の娘が二泊三日の修学旅行で万博に行ってきました。笑顔で帰ってきたので楽しんでくれたようでホッとしました。娘のいない三日間はとっても静かでした(笑) (shouko sasaki)

編集委員募集中!

問い合わせ先

広報委員会

kouhou@hamamatsu-ikuseikai.net